

令和5年度第2回松山市地域包括支援センター運営協議会 議事録

日 時：令和5年8月24日（木）13:30～15:00

場 所：センタービル4階 第1会議室

出席者：地域包括支援センター運営協議会委員12名、各地域包括支援センター、事務局

議 事：（1）地域包括支援センター運営状況について

①令和4年度地域包括支援センターの業務評価について

②基幹型地域包括支援センターの活動報告（令和5年4月～7月）

（2）その他

（1）地域包括支援センター運営状況について

①令和4年度地域包括支援センターの業務評価について

- 職員ひとり一人の目標実現に向けた適切な研修を受講させることで、センター全体の質の向上につながるため、有意義な研修受講計画を定めていただきたい。
- 地域のニーズは軽度なものから緊急度の高いものまで様々である。センターが的確にニーズを把握し、重点的に取り組むものをピックアップする流れを記録に残すことは重要だ。
- 苦情は決して悪いものではない。苦情にどう向き合い、どう対応したかプロセスが重要で、利用者満足度の向上につながる。
- 介護保険事業計画策定や地域福祉計画策定のためのアンケートなど、センターは参考になるアンケート結果を積極的に情報収集してほしい。
- 虐待の発生要因を分析し、その要因に切り込んだ対象にアプローチしなければ研修の効果は薄い。
- 個別の困難事例はケース会議で対応できているが、地域ケア個別会議の概念に合致していないことは課題ではないかと思う。現状に即した形で地域ケア個別会議の捉え方を検討する余地はあるのではないかと感じる。

②基幹型地域包括支援センターの活動報告（令和5年4月～7月）

- 介護支援専門員の高齢化や業務負担の増加に伴い、介護支援専門員が不足している。他の福祉関係者にも共通するところがあり、深刻な問題になってきている。

（2）その他

（意見）特になし